

1. 総論

【総括判断】「管内経済は、供給面での制約の影響がみられるものの、緩やかに持ち直している」

項目	前回（4年7月判断）	今回（4年10月判断）	前回比較
総括判断	供給面での制約の影響がみられるものの、緩やかに持ち直している	供給面での制約の影響がみられるものの、緩やかに持ち直している	→

（注）4年10月判断は、前回7月判断以降、足下の状況までを含めた期間で判断している。

（判断の要点）

個人消費は、家電販売額、ホームセンター販売額が前年を下回っている一方で、百貨店販売額、スーパー販売額などが前年を上回っているほか、宿泊や飲食サービスなどは持ち直しており、緩やかに持ち直している。生産活動は、一部に供給面での制約の影響がみられるものの、生産用機械、輸送機械などが増加しており、緩やかに持ち直している。雇用情勢は、緩やかに改善しつつある。

【各項目の判断】

項目	前回（4年7月判断）	今回（4年10月判断）	前回比較
----	------------	-------------	------

個人消費	緩やかに持ち直している	緩やかに持ち直している	→
生産活動	持ち直しに向けた動きに一服感がみられる	緩やかに持ち直している	↗
雇用情勢	持ち直している	緩やかに改善しつつある	↗

設備投資	4年度は増加見込みとなっている（全規模・全産業ベース）	4年度は増加見込みとなっている（全規模・全産業ベース）	→
企業収益	4年度は減益見込みとなっている（全規模ベース）	4年度は減益見込みとなっている（全規模ベース）	→
企業の景況感	「下降」超となっている（全規模・全産業ベース）	「下降」超となっている（全規模・全産業ベース）	→
住宅建設	前年を下回っている	前年を上回っている	↗
公共事業	前年を下回っている	前年を下回っている	→
輸出	前年を上回っている	前年を上回っている	→

【先行き】

先行きについては、ウィズコロナの新たな段階への移行が進められる中、各種政策の効果もあって、景気が持ち直していくことが期待される。ただし、世界的な金融引締め等が続く中、海外景気の下振れが景気を下押しするリスクとなっている。また、物価上昇、供給面での制約、金融資本市場の変動等の影響に十分注意する必要がある。

2. 各論

■ 個人消費 「緩やかに持ち直している」

百貨店販売額、スーパー販売額、コンビニエンスストア販売額などは前年を上回っている。家電販売額、ホームセンター販売額は前年を下回っている。乗用車の新車登録届出台数は、小型車が前年を下回っているものの、普通車、軽乗用車は前年を上回っており、全体として前年を上回っている。

宿泊や飲食サービスなどは、持ち直している。

このように個人消費は、緩やかに持ち直している。

(主なヒアリング結果)

- 天候要因等により来店客数はやや減少したものの、富裕層の消費が継続しているほか、高付加価値商材の牽引により客単価は上昇しており、業績は好調。(百貨店、大企業)
- 物価高に伴う販売数量の落ち込みはみられるものの、総菜類の販売が好調だったほか、アイスクリームなどの季節食品の販売が伸びたことから売上高は増加している。(スーパー、中堅企業)
- 行動制限の緩和に伴い、おにぎり、ソフトドリンク、カウンターフードなどの行楽関係の需要が増加したことから、売上高、客数が増加するとともに、客単価が上昇している。(コンビニエンスストア、中堅企業)
- 新型コロナウイルス対策商品の需要が一巡したほか、供給制約によりプライベートブランド商品が品薄になった影響もあり、売上高、客数が前年を下回っている。(ホームセンター、大企業)
- 販売台数は12か月連続で前年同月を下回って推移していたが、ここにきて横ばいになっており、回復の兆しが見える。(自動車販売、中小企業)
- 国内旅行は、第7波の影響により一定のキャンセルが発生したものの、県民割や行動制限緩和により前年比約3倍の売上げとなっている。(旅行、大企業)
- 宿泊部門は、第7波の感染拡大があったものの、行動制限がなかったことから好調に推移したほか、宴会や会議の需要も少しずつ戻ってきている。(宿泊、中小企業)
- 新型コロナウイルス感染者数の急増に伴い客数が前年を下回ったものの、テイクアウトの定着や客単価の上昇により売上高は増加している。(飲食サービス、大企業)

■ 生産活動 「緩やかに持ち直している」

生産を業種別にみると、一部に供給面での制約の影響がみられるものの、生産用機械、輸送機械、電気機械などが増加しており、緩やかに持ち直している。

- 半導体製造装置は、旺盛な需要により今期の受注額が過去最高となったほか、フル生産が続いており、生産量は増加している。(生産用機械、大企業)
- 依然として半導体不足が継続しているものの、その状況が改善してきていることに加え、中国ロックダウンによる減産影響が解消されたこともあり生産量は増加している。(輸送機械、大企業)
- 上海ロックダウンの解除により部材不足が解消されたことから、4-6月の生産減少分の挽回生産を行っており、主力家電製品の生産量は増加している。(電気機械、大企業)

なお、非製造業では、リース業の取扱高及び広告業の売上高は前年を下回り、情報サービス業の売上高は前年を上回っている。

■ 雇用情勢 「緩やかに改善しつつある」

有効求人倍率は上昇し、新規求人数は増加しているほか、完全失業率は改善しており、雇用情勢は、緩やかに改善しつつある。

- 受注が好調な中、生産に必要な人員が十分に確保できていない。人材派遣を活用しているが必要な人材が集まらず、特に専門人材の確保が困難となっている。(製造業、中小企業)
- コロナ感染拡大時に大量に離職した店舗アルバイトの補充ができていない。(飲食サービス、中小企業)

■ 設備投資 「4年度は増加見込みとなっている」 (全規模・全産業) 「法人企業景気予測調査」4年7-9月期

- 製造業では、食料品などで減少見込みとなっているものの、化学、自動車・同附属品などで増加見込みとなっていることから、全体では増加見込みとなっている。
- 非製造業では、情報通信業などで減少見込みとなっているものの、金融業、保険業、不動産業などで増加見込みとなっていることから、全体では増加見込みとなっている。

- 需要が旺盛なディスプレイ用液晶フィルムの生産能力増強のため増加見込み。(化学、大企業)
- 新型コロナの影響により先送りとなっていた案件が再開されたため、増加見込み。(不動産、大企業)

■ 企業収益 「4年度は減益見込みとなっている」 (全規模) 「法人企業景気予測調査」4年7-9月期

- 製造業では、情報通信機械などで増益見込みとなっているものの、非鉄金属などで減益見込みとなっていることから、全体では減益見込みとなっている。

○ 非製造業では、運輸業、郵便業などで増益見込みとなっているものの、学術研究、専門・技術サービス業などで減益見込みとなっていることから、全体では減益見込みとなっている。

■ **企業の景況感** 「『下降』超となっている」 (全規模・全産業) 「法人企業景気予測調査」4年7-9月期

○ 大企業は「上昇」超に転じ、中堅企業は「下降」超幅が拡大し、中小企業は「下降」超幅が縮小している。先行きについては、全規模・全産業ベースで10~12月期に「上昇」超に転じる見通しとなっている。

■ **住宅建設** 「前年を上回っている」

○ 新設住宅着工戸数をみると、持家は前年を下回っているものの、貸家、分譲住宅は前年を上回っており、全体として前年を上回っている。

- 1棟当たりの販売価格が上昇する中、コロナの影響の継続から住宅展示場の来客数は減少しており、注文住宅の受注は前年を下回っている。(住宅建設、大企業)
- 分譲マンションは、価格が高騰しているものの、パワーカップルを中心に購入意欲が強く、利便性の高い都心や駅近物件のほか、主要沿線上の郊外も人気となっており、販売は好調となっている。(不動産、大企業)

■ **公共事業** 「前年を下回っている」

○ 前払金保証請負金額をみると、独立行政法人等、都県、市区町村は前年を上回っているものの、国が前年を下回っており、全体として前年を下回っている。

■ **輸出** 「前年を上回っている」

○ 通関実績(円ベース、東京税関と横浜税関の合計額)でみると、輸出は前年を上回っている。なお、輸入も前年を上回っている。

■ **倒産** 「件数、負債総額ともに前年を上回っている」

3. 各都県の総括判断

	前回(4年7月判断)	今回(4年10月判断)	前回比較	総括判断の要点
埼玉県	供給面での制約の影響がみられるものの、緩やかに持ち直している	供給面での制約の影響がみられるものの、緩やかに持ち直している	➡	個人消費は、緩やかに持ち直している。生産活動は、一進一退の状況にある。雇用情勢は、持ち直しつつある。
茨城県	一部に供給面での制約の影響がみられるものの、緩やかに持ち直している	一部に供給面での制約の影響がみられるものの、緩やかに持ち直している	➡	一部に供給面での制約の影響がみられるものの、個人消費は緩やかに持ち直しており、生産活動及び雇用情勢は持ち直している。
栃木県	供給面での制約の影響がみられるものの、持ち直しつつある	供給面での制約の影響がみられるものの、持ち直しつつある	➡	個人消費は、緩やかに持ち直している。生産活動は、一部に供給面での制約の影響がみられるものの、持ち直しつつある。雇用情勢は、緩やかに持ち直している。
群馬県	供給面での制約の影響がみられるものの、持ち直しつつある	供給面での制約の影響がみられるものの、持ち直しつつある	➡	個人消費は、持ち直している。生産活動は、供給面での制約の影響がみられる中、持ち直しに向けた動きに一服感がみられる。雇用情勢は、持ち直しつつある。
千葉県	一部に弱さがみられるものの、緩やかに持ち直している	緩やかに持ち直している	➡	個人消費は、緩やかに持ち直している。生産活動は、持ち直している。雇用情勢は、持ち直しつつある。
東京都	緩やかに持ち直している	緩やかに持ち直している	➡	個人消費及び産業活動は、緩やかに持ち直している。雇用情勢は、改善しつつある。
神奈川県	供給面での制約の影響がみられるものの、緩やかに持ち直している	供給面での制約の影響がみられるものの、持ち直している	➡	個人消費は、持ち直している。生産活動は、供給面での制約の影響がみられるものの、持ち直している。雇用情勢は、持ち直している。
新潟県	供給面での制約の影響がみられるものの、緩やかに持ち直している	一部に供給面での制約の影響がみられるものの、緩やかに持ち直している	➡	個人消費は、緩やかに持ち直している。生産活動は、一部に供給面での制約の影響がみられるものの、緩やかに持ち直しつつある。雇用情勢は、改善しつつある。
山梨県	緩やかに持ち直している	緩やかに持ち直している	➡	個人消費は、緩やかに持ち直している。生産活動は、緩やかに持ち直している。雇用情勢は、持ち直している。
長野県	緩やかに持ち直している	緩やかに持ち直している	➡	個人消費は、緩やかに持ち直している。生産活動は、持ち直している。雇用情勢は、改善しつつある。